

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. B-55

部門名： 2. 働き方改革実践部門	エントリー名： 大阪市立三軒家東小学校
活動名： 学校ホームページ有効活用 産学官民・家庭との連携強化	
解決すべき課題： これまでの学校ホームページは、学校での出来事の周知にとどまっている。学校ホームページの有効活用をすることで、教職員の勤務時間の削減を図りながら、産学官民・家庭との連携を強化する。	
目標・方針： ※課題を解決するためにどんなストーリーやシナリオを構想して、活動内容を組み立てたのか、記載してください。 働き方改革として、産学官民・家庭との連携を強化するための方策の一つとして、学校ホームページの有効活用を図る。特に保護者に対し、学校教育の理解を図り、家庭学習の活性化を図る。地域社会で行われているイベントやコンテストの周知をし、保護者が学校を介さずに申し込みをできるようにすることで、教職員の業務の負担軽減・職務時間の短縮を図る。 産学官民の連携を図ることで、社会に開かれた教育を行うと共に教職員の職務の軽減をする。学校ホームページをフェイスブックやツイッター、LINE などと連携することで、学校教育の社会認知度を上げる。 災害発生時などは、学校ホームページと全保護者へのメール配信の連動をすることで、迅速に緊急対応できるようにすると共に、携帯からの発信を生かすことで、緊急事態に係る職務時間や負担感を軽減する。	
活動内容： ※目標・方針に基づいてどのような活動を行ったか、また、複数の活動を展開した場合はその位置づけや関連性を記載してください 必要に応じて、保護者メールを送り、メールに学校ホームページのリンクを貼り、すぐに関覧ができるように工夫した。徴収金の連絡などのプリントは、配布せずに、学校ホームページにアップすることで、印刷・児童配布への時間短縮を図れた。コンクールなどの応募も家庭から直接できるようにし、教職員の職務軽減を図れた。 学校ホームページを通じて、教職員間の共通理解を図り、会議での伝達時間の短縮を図った。学校ホームページとフェイスブックやツイッターと連携することで、本校の学校教育の社会的認知を高めた。 家庭学習で生かせる学習コンテンツ(リンク)を貼り、家庭学習の活性化を図った。	
活動の成果： ・学校ホームページの閲覧数が、昨年度は一昨年度の 2 倍以上、今年も昨年度の 2 倍以上アップした。 ・保護者が直接イベントなどに申し込みができ、教職員の職務軽減だけでなく、家庭の指導力も高まった。 ・案内を PDF 化したものを載せているため、学習プリントを家庭で活用できる。学習に役立つリンクを張ることで、家庭学習での ICT 活用につながった。家庭学習の紹介は、児童の意欲向上につながった。【図 1】 ・学生ボランティアや図書への贈呈、出前授業など、学校教育への自主的・積極的な協力を得ることができた。 ・学校の取り組みが、区役所や警察官との協力を得るだけでなく、大学と連携した取り組みを区役所の方で発表していただけるなど、産学官民・家庭との連携を強化することができた。【図 2】 ・学校ホームページのカテゴリーを活用することで、報告文書の作成にかかる時間が非常に減少した。 ・児童の学習意欲の高まりだけでなく、教職員の働き甲斐の向上にもつながった。 ・保護者アンケートでの「学校での様子がよく分かる」に『そう思う』『だいたいそう思う』と回答した保護者は、全体の 93% であった。	
アピールポイント(アイデアや工夫)： ※3~5 つ程度、箇条書きしてください ・産学官民・家庭との連携強化が図れる教員の働き方改革は、課題の重要性として非常に高い。 ・本校で行っている学校ホームページの有効活用の汎用性は非常に高い。全国どここの学校でも実現できる。 ・働き方改革としての学校ホームページの活用は、このような活用は独創的である。 ・(時間も含めて)費用対効果が非常に高い。社会的な影響度も高く、全国的に広めていきたい。	

【図 1】



【図 2】

